

「お金のカタチ」ワークシート～見たい目編～

1. 下線に当てはまる言葉を考えて、穴埋めしてみましょう。

・お札のデザインはどれもとても細かい線で描かれています。また、全部で 20 色程度を使用することでプリンターでの再現を難しくしています。色を____にすることで再現を難しくしたり、人間が異変に気づきやすい人の顔をデザインに用いたりすることで、____を難しくしています。

・インクが表面に盛り上がるような立体的な印刷を_____といいます。

・目の不自由な人に向けて作られた、紙幣の下部にあるざらざらとしたマークのことを_____マークといいます。

・カラーコピー機では簡単に再現できないくらい、小さく書かれた文字が紙幣には用いられています。この文字のことを_____文字といいます。

・紙幣を傾けると光沢を帯びたピンクの模様が見えます。この模様を印刷するとき用いられるインクのことを_____インキといいます。

・紙の厚さを変えることで光を通して見たときに肖像画が浮かぶようになる印刷のことを_____ (すき入れ) といいます。

・一万円札と五千円札の、傾けると額面金額、日銀のマーク、桜の三種の絵が出てくる部分のことを_____ といいます。

・現在の紙幣の表面肖像は一万円札が_____、五千円札が_____、千円札が_____です。おなじく裏面は一万円札が_____、五千円札が_____、千円札が_____と桜です。

2. あなたがお札の肖像になる人を選ぶのならだれを選びますか？サイトの肖像画に選ばれた人に関する説明を読んだうえで、理由とともに書いてみましょう。また、書いたら友達と見せ合ってみましょう。

肖像画 → _____

理由

| |
|--|
| |
|--|